

中国四国支部講演会論文原稿の書き方

Information for contributors

◎正 四国 太郎（高知工大）， ○学 中国 次郎（高知工大）

Taro SHIKOKU, Kochi University of Technology, 185 Miyanokuchi, Tosayamadacho, Kami, 782-8502 Japan

Jiro CHUGOKU, Kochi University of Technology, 185 Miyanokuchi, Tosayamadacho, Kami, 782-8502 Japan

Key Words: Manuscript, Format, Font, Title, Authors' Names

1. 原稿のフォーマットの概要および原稿の長さ

用紙は「A4 縦置き」としてください。余白は、「上が 20 mm」，「下が 25 mm」，「左右が各 15 mm」としてください。

本文は、2 段組とし、中央に 10 mm の空白を設けてください。文字数・行数は標準的な設定にしてください。

本文の各段落の先頭は、1 文字分「字下げ」してください。本文および図表の文字サイズは 9 ポイントとし、本文中の文字のフォントは、明朝体・Serif 系 (Century, Times New Roman など) を利用し、章節項については、ゴシック体を使用してください。

句読点については、読点として全角のカンマ「，」を、句点として全角のピリオド「。」を使用してください。

原稿の長さは 2 頁程度とし、原稿にページは記入しないでください。

論文原稿は、フォントを埋め込んだ PDF ファイルで提出してください。ファイルサイズはなるべく 2 MB 以下にしてください。PDF ファイルに埋め込まれたフォントは、PDF ファイルを開き、「ファイル→プロパティ→フォント」で表示できます。

2. 表題や著者名の書き方

1 行目には「講演番号」を「半角・Arial フォント相当・12 ポイント・10 mm 字下げ」で記入してください。

2 行目には「邦文表題」を「MS ゴシックフォント相当・14 ポイント・中央寄せ」で記入してください。

3 行目には「英文表題」を「Times New Roman フォント相当・12 ポイント・中央寄せ」で記入してください。

4 行目は「空白行」にしてください。

5 行目から「邦文氏名」を書いてください。「MS 明朝フォント相当・10 ポイント・中央寄せ」で記入してください。なお、上の例のように、氏名の左には会員資格を正・准・学のように書き添え、氏名の右には所属を丸かっこで囲んで略記してください。また、連名の場合には、講演発表者の前に○印をつけてください。さらに、「卒業研究発表講演会」の場合には、指導教員の前に◎印をつけてください。

邦文氏名の下には、「英文氏名および所属機関の名称と所在地」を「Times New Roman フォント相当・10 ポイント・中央寄せ」で記入してください。英文氏名には、氏名の前の○印や◎印は不要です。

英文氏名および所属機関の名称と所在地の下には「1 行空白行を入れ」、その下に「キーワード」を 5 つ以内、「Times New Roman フォント相当・9 ポイント・中央寄せ」で記入してください。

3. 図および表の書き方

3.1 図の書き方

本文中では、図 1 のように日本語で書いてください。図のキャプションは、図の下部に英文で記載してください。また、図は英文で作成してください。講演論文は CD で配布しますので、図はカラーでも構いません。

3.2 表の書き方

本文中では、表 1 のように日本語で書いてください。表のキャプションは、表の上部に英文で記載してください。また、表は英文で作成してください。表の体裁については、機械学

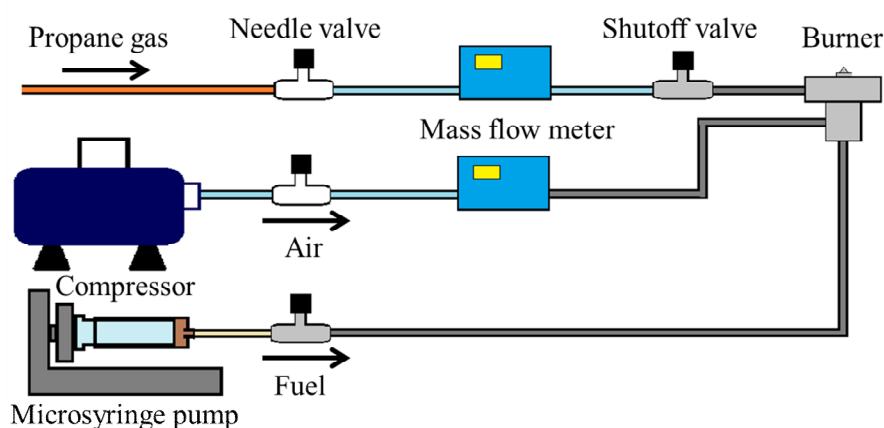


Fig. 1 Experimental setup.

Table 1 Experimental conditions.

Fuel	Fuel flow rate (ml/min)	Air flow rate (ml/min)	LHV (kJ/kg)	Heat release rate (kW)
Heavy oil	6.0	6.5	42440	2.7
20wt% water	7.4	8.2	33040	2.7

会論文集を参考にしてください。

表は、MS Word の作表機能を使って作成するか、画像ファイルとして貼り付けるか、いずれでも構いません。

4. 引用文献の書き方

引用文献については、本文中の引用箇所の右肩に小括弧をつけて、通し番号を書いてください。例えば、新宿・渋谷⁽¹⁾⁽²⁾のように書いてください。引用文献は、本文末尾に番号順にまとめて書いてください。その際、日本語の文献を引用する場合は日本語表記とし、英語の文献を引用する場合は英語表記とし、引用文献の書き方の詳細については、機械学会論文集を参考にしてください。

5. その他

講演会で発表される論文は、全てそのアブストラクトが

JST データベースに収録されます。論文原稿とは別に、JST データベースに収録する抄録も提出してください。ただし、「卒業研究発表講演会」に関しては、JST データベース用抄録は不要です。

謝辞

本講演会は、〇〇〇の補助により開催いたします。

文献

- (1) 高知花子，土佐三郎，“日本語論文の書き方”，日本機械学会論文集 C 編，Vol. 57, No. 534 (1992), pp. 1-16.
- (2) Law, C.K., Lee, C.H. and Srinivasan, N., “Combustion Characteristics of Water-in-Oil Emulsion Droplets”, Combustion and Flame, Vol. 37, No. 1, (1980), pp. 125-143.